

本人・32才

無所属

ふみひと

# すがわら 文仁



討議資料16号 発行 すがわら文仁(ふみひと)後援会 戸田市美女木 8-21-6



3月議会、市民生活常任委員会で提言。



幸手市へ視察。大久保議長とガッチリ握手。



勉強会で講義しました。



県内若手市議と意見交換。

## ごあいさつ

日頃より、すがわら文仁の活動にご理解をいただきありがとうございます。市議会議員として丸3年が経過し、いよいよ任期の最終年度がスタートしました。議会の中では、お約束させていただいた公約に基づいて様々な角度から政策提言をおこなって参りました。提言した政策には、未だ途上の政策もありますが、実現した政策も数多くなってきております。マックス・ウェバーは「政治とは情熱と判断力を駆使しながら、堅い板に力を込めてじわっじわっと穴をくり貫いていく作業である(職業としての政治)」といいました。一つ一つの政策をていねいに、着実に実現化することこそ政治家の本懐として、これからも邁進して参りますので、引き続いての叱咤激励、よろしくお願い申し上げます。

平成20年 春

戸田市議会議員 菅原文仁

## PROFILE すがわら文仁

昭和50年7月30日生まれ 32歳  
身長170cm 体重67kg A型 獅子座  
美谷本小学校 美笹中学校 県立伊奈学園総合高校  
日本体育大学 明治大学公共政策大学院 卒業  
若手政治家養成塾事務局長 埼玉坂本龍馬会幹事  
大前研一氏主宰「一新塾」16期生  
戸田市体操協会会長 日本地方自治学会会員  
【資格】 教員免許(保健・体育)  
【趣味】 史跡巡り 読書 音楽 B級グルメ探求  
【特技】 体操 スキー のび太並み早寝  
【好きな言葉】 為せば成る(上杉鷹山)  
【夢】 努力した人が報われる社会の実現!  
【家族】 父(元教諭)、母(体操指導者)、妹(元オリンピック選手)、愛犬  
【メール】 sawayaka@sugawarafumihito.com  
【携帯】 090-8462-6482



携帯用QRコード



スポーツ家に生まれ育ち、子どもの頃から体操競技、サッカー、アルペンスキーと様々なスポーツを経験する。父と同じく教員を目指して大学に入学し、スポーツトレーナーとしてスポーツ医学を学ぶ。しかし教員採用試験に挑むも挫折。この頃に、現在も活躍する若手政治家に出会い、政治に夢を抱くようになる。卒業後は体操競技やスポーツの指導をしながら子どもの体力低下や中高年のメタボリック症候群などに問題意識をもつが、自分だけの力では何も変わらないことを実感。また、趣味の学校設立ボランティアの活動でカンボジアやミャンマーを訪れ、政治のあり方によって国民の生活が大きく左右されることに気づき、政治の道に進むことを決意する。

その後、戸田市長の神保国男氏、県議会議員の峯岸光夫氏の政治姿勢に共感し、ジバン(後援会)・カンバン(知名度)・カバン(お金)のないなか、夢と情熱と使命感だけを胸に、当時29才で市議会議員選挙に立候補し、当選する。平均年齢52才の市議会のなかでは最年少の議員である。

現在は、大学院で修士号(公共政策学)を取得し、政策提案する議員として、公共経営の視点で市政改革に挑む日々を過ごす。また、世襲、しがらみ、ムダづかいのない市民主権の政治を目指す県内外の若手政治家の仲間達と共に「若手政治家養成塾」を立ち上げ、新聞各紙、テレビ、ラジオに、その活動が取り上げられている。

# 政策実現特集 (提案、実現した政策を紹介) これからもコツコツがんばります。

昨年9月議会で提言した「公共施設等整備基金」が創設され、基金積立額10億円が計上されました

## 公共施設等整備基金を 導入して将来負担軽減を 「基金有効 前向きに検討せよ」

菅原 文仁 議員

議員 昨年度、本市の公共施設等整備基金の創設が実現しました。これは、本市の公共施設等整備基金の創設が実現したことを報告し、今後の基金の有効な活用について、議員から市長へ質問した際の答弁を掲載しています。

議員 昨年度、本市の公共施設等整備基金の創設が実現しました。これは、本市の公共施設等整備基金の創設が実現したことを報告し、今後の基金の有効な活用について、議員から市長へ質問した際の答弁を掲載しています。

議員 昨年度、本市の公共施設等整備基金の創設が実現しました。これは、本市の公共施設等整備基金の創設が実現したことを報告し、今後の基金の有効な活用について、議員から市長へ質問した際の答弁を掲載しています。

議員 昨年度、本市の公共施設等整備基金の創設が実現しました。これは、本市の公共施設等整備基金の創設が実現したことを報告し、今後の基金の有効な活用について、議員から市長へ質問した際の答弁を掲載しています。

## 公共施設整備基金の質問 (昨年9月議会で提案しました。)

議案第5号 戸田市公共施設等整備基金条例 (設置)

第1条 公共用又は公前の施設の整備に必要な資金に充てるため、戸田市公共施設等整備基金(以下「基金」という。)を設置する。

第2条 基金として積み立てる額は、毎年度予算の定めるところによる。

第3条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他の最も有利な方法により保管しなければならない。

第4条 基金の運用から生ずる収益は、一般会計繰入額出予算計上して、この基金に繰り入れるものとする。

第5条 市長は、財政上必要があるときは、議決を経て、基金の運用から生ずる収益を、一般会計繰入額出予算計上して、この基金に繰り入れるものとする。

第6条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則 この条例は、公布の日から起算して、平成20年2月5日開始

戸田市長 神保 国 男

条例文(詳しくはすがわらまで)

# 病児、病後児保育のさらなる増設。これも菅原の質問からはじまった政策です。(市内3カ所予定)

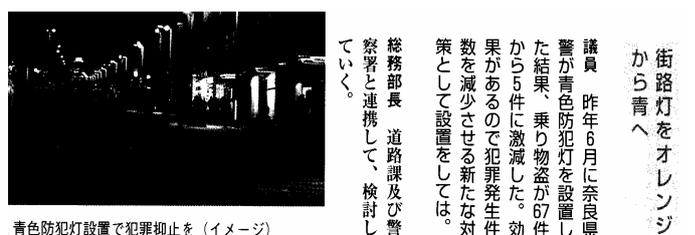
【解説】 多くの共働きの家庭が抱えている不安として挙げられることに、子どもが病気になった際の「預け先」の問題があります。祖父母と離れて暮らす夫婦にとって、安心して預けられる保育環境が整備されることは、少子化をたどる我が国の新たな課題でもあります。平均年齢が39才(全国三位)で子育て世代が多く、核家族比率が非常に高い戸田市において、病児、病後児保育の整備は、重要な有効な子育て支援政策ではないでしょうか。子育ての価値は損得を超えるものです。

病児・病後児保育とは、戸田市の委託により実施される、法令によって定められた特別な保育です。市内に居住し、認可保育園・家庭保育室に通園中のお子さんが、病気又は病後回復期のため集団生活が困難な時期に、施設にて看護師・保育士により一時的にお子さんを預かるものです。

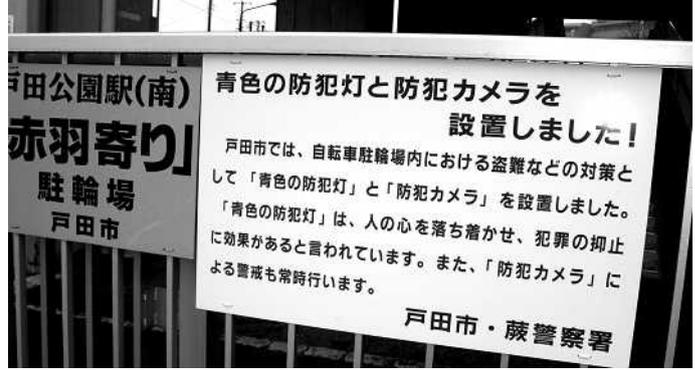
議員 昨年度、本市の公共施設等整備基金の創設が実現しました。これは、本市の公共施設等整備基金の創設が実現したことを報告し、今後の基金の有効な活用について、議員から市長へ質問した際の答弁を掲載しています。

議員 昨年度、本市の公共施設等整備基金の創設が実現しました。これは、本市の公共施設等整備基金の創設が実現したことを報告し、今後の基金の有効な活用について、議員から市長へ質問した際の答弁を掲載しています。

# 戸田公園駅「赤羽寄り」駐輪場にも「青色防犯灯」が設置されました。(市内2カ所)



青色防犯灯設置で犯罪抑止を(イメージ) 青色防犯灯の質問 (議会だより150号より)



戸田公園駅赤羽寄り駐輪場(3月22日撮影)

【解説】 元々はイギリスのグラスゴーという街で街路灯を青色にしたところ、犯罪が激減したことがきっかけとなって研究された「青色防犯灯」。日本では奈良県警で設置してから、広島県や、東京都荒川区など、各地で効果をあげております。一昨年前に、防犯対策の一環として議会で提言しました。かかるコストが少額で犯罪が減少すると期待されております。戸田駅でも試行として設置して、市内2カ所目の設置となります。防犯カメラも設置され、防犯対策の強化がはかられております。県内ワースト10脱却(現在ワースト3位)を掲げる戸田市。犯罪対策は最優先の課題です。



▲保育園にも心強い医師がいたら安心ですね

議員 昨年度、本市の公共施設等整備基金の創設が実現しました。これは、本市の公共施設等整備基金の創設が実現したことを報告し、今後の基金の有効な活用について、議員から市長へ質問した際の答弁を掲載しています。

議員 昨年度、本市の公共施設等整備基金の創設が実現しました。これは、本市の公共施設等整備基金の創設が実現したことを報告し、今後の基金の有効な活用について、議員から市長へ質問した際の答弁を掲載しています。



4月1日に新設された戸田公園駅前の病児保育施設前にて H18.12月議会の一般質問は読売新聞に取り上げられました

<b>議会報告</b>	
<b>第1回 臨時会(2月6日～7日)</b>	
市長提出議案4件(条例1、予算2、人事1)のほかに、今年1年間の議会内人事(いわゆる役職)が決定されました。 平成20年度 菅原文仁の役職	
常任委員会	市民生活常任委員会(副委員長)
議会選出委員等	国保運営協議会委員 友好交流事業推進委員会委員

**可決された主な議案**  
**第1号** 公務員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
 公務員の給与は各自治体の条例により定めるとされています。今回の改正は、平成19年8月に発表された人事院勧告(6年ぶりの公務員給与の引き上げ勧告)に準じた改正です

**第2回 定例会(2月26日～3月21日)**  
 市長提出議案41件(条例12、一般1、予算28、人事4)、議員提出案件5件(条例2、意見書3)が上程され、各委員会において審議されました。結果、市長提出議案、議員提出議案ともに原案通り可決されました。

**可決された主な議案(予算案を除く)**  
**第5号** 公共施設等整備基金条例 新規  
 昨年9月議会の一般質問ですがわらが提案した基金。公共施設の建設費などに充てるための基金です。

**第6号** 障害者施設条例 新規  
 障害者の自立支援を目的とした福祉作業所の設立に伴う条例です。

**第7号** 後期高齢者医療に関する条例 新規  
 後期高齢者医療制度の開始に伴い、市の事務について定める条例の制定です。

**第10号** 国民健康保険税条例の一部を改正する条例  
 前期高齢者世帯での特別徴収、後期高齢者医療制度の開始に伴う後期高齢者支援金分の税率について定める改正です。

**第13号** 市立保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例  
 こだま保育園の廃園に伴う改正です。

**第14号** 市営住宅条例の一部を改正する条例  
 入居者条件に「暴力団員でないこと」を追加する改正。

**第16号** 農業委員会の選挙による委員の定数条例等を廃止する条例  
 農業委員会が廃止されることに伴う3条例の廃止と6条例の改正。

**委員会の主な発言**  
 上下水道料金の支払いにクレジットカード決済を導入してはどうか  
 生ゴミ肥料化容器、電気生ゴミ処理機、EM容器などの購入費補助については、補助の成果を調査し、アウトカム(成果志向)の視点で補助していく必要がある  
 同じようなデータ入力業務の委託は、まとめて委託して経費削減を計れるのではないかと  
 大気、騒音、振動、水質、土壌などの調査については、別事業でも、まとめて委託することが出来るのならば委託して節減すべきではないか……等々

<b>平成20年度 戸田市の予算概要</b>		
<b>一般会計、特別会計および水道会計</b>		
<b>会計種別</b>	<b>予算額</b>	<b>対前年比</b>
一般会計	39,140,000,000	102.8%
特別会計(15事業計)	23,465,637,000	89.0%
合計	62,605,637,000	97.2%
水道企業会計	3,590,347,000	106.4%

<b>主な新規事業</b>	
<b>子育て</b>	・民間保育所2園新設(2億4,500万円) (戸田駅前施設120名、北戸田駅前施設90名) ・病児・病後児保育施設新設(3,000万円) (さらに2カ所増設。1カ所は4月1日開所) ・戸田東小、笹目東小の学童保育室立替え、および定員増(7,700万円) ・母子家庭自立支援補助金(200万円)
<b>教育</b>	・戸田東小の自校式給食施設整備工事と笹目東小の同施設整備設計調査委託(4億3,500万円) ・中3学力調査(年3回)(200万円) ・放課後こども教室(12校)(1,200万円)
<b>福祉</b>	・知的障がい者作業所設置(6,600万円) ・小規模多機能居宅介護事業所開設(いきいきタウンと隣接地)(国負担1,500万円) 19年3月補正 ・後期高齢者医療事業(4億7,400万円) ・健康福祉の杜第二期整備設計(1,700万円)
<b>保健</b>	・個別がん検診(1億円) ・特定保健診指導(300万円) ・妊婦健康診査(2回から5回に)(6,600万円)
<b>環境</b>	・フラワーセンター運営促進(1,400万円) ・駅前環境美化(障がい者雇用等)(4,600万円) ・戸田南小屋上緑化(400万円) ・新曽公園(4号公園)新設(5,700万円) ・後谷公園の景観改良(5,000万円) ・荒川水循環センター上部利用へのアクセス道路整備(1,700万円) ・道満周辺戸田ヶ原再生(1,300万円) ・温暖化対策支援補助金(1,300万円)
<b>都市整備</b>	・戸一小前の歩道整備(1億2,300万円) ・市内橋安全度調査(33橋)(1,000万円) ・さくら川の、護岸、遊歩道整備と、辺島橋の架替設計業務(1億2,600万円) ・新曽中央地区都市基盤整備(4,800万円) ・新曽第一区画整理事業(21億6,500万円) ・新曽第二区画整理事業(3億9,000万円)
<b>文化・スポーツ</b>	・市民大学(3講座、各10回)(300万円) ・総合型スポーツクラブ設置(芦原小学校)(100万円) ・高校総体ボート競技補助(1,600万円) ・文化会館、スポーツセンター、学校の施設改修等の整備(2億3,800万円)
<b>安全・安心</b>	・小中学校、新曽福祉センター耐震補強(市内小中学校耐震化率進捗予定75%) (6億6,600万円) ・市民防災教室改修、消防車両整備等(1億2,900万円) ・防災倉庫整備(笹目小、美谷本小)(2,600万円) ・防犯パトロール活動支援(900万円)
<b>くらし・産業</b>	・トコバス路線見直し(500万円) ・多重債務等生活相談増設(600万円) ・産業立地支援補助金新設(1,000万円)
<b>行政運営</b>	・自治体シンクタンク「戸田市政策研究所」設置費用(県内初の取り組み)(300万円) ・行政計画各種策定(3,000万円) ・市議選選挙費(平成21年1月執行)(8,500万円)

## NEWS & TOPICS

### 後期高齢者医療制度(長寿医療制度)開始

老人保健制度が廃止され、75才以上の方全員、65~74才の方で、一定の障がいの認定を受けた方を対象に、新たに独立した医療制度が始まります。

保険証がひとり1人交付され、埼玉県内の保険料は均等割額(42,530円) + 所得割額(7.96%)になり、年金から天引きされます。(所得の少ない方等への軽減措置もあります。)

後期高齢者医療制度は県内市町村で構成する広域連合が運営します。ご不明は戸田市の保険年金課へお問い合わせ下さい。市役所 048-441-1800

### 国民健康保険税は平成19年度の税率(医療分)に据え置きに

「国民皆保険制度」を持続可能にするために創設された「後期高齢者医療保険」の支援金分として各市町村は国保税(料)率を改正しています。

後期高齢者医療制度開始にともなう現役世代負担の4割分については、国民健康保険税に新たに組み込まれ、3本立て課税されます。(医療分、介護分、後期高齢者支援金分)

市議会では昨年12月に2年計画のなかで平成20年度以降の国保税の税率改正をおこないましたが、その中で増加した医療分の税率を19年度に据え置いて、新規設置される後期高齢者支援金等分の税率と相殺する措置をおこない、負担額を微減させました。

この軽減措置により、戸田市の後期高齢者支援金分の所得割額「0.35%」、均等割額「3,000円」は県内40市中一番低く(安く)なります。

応能割(所得割額マイナス0.3%資産割額プラス2.0%)応益割(均等割額マイナス2,000円、平等割額マイナス3,000円)

### 自己負担額は「800円」に。特定健診・特定保健指導の義務化開始(40~75才全員が対象)

増加する医療費の抑制を目的(平成27年までに2兆円削減目標)に、5割を占める生活習慣病(ガン、心臓病、脳卒中、糖尿病など)の原因となるメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を選定して指導するために、健康診断を受診する制度が開始されます。判定基準を測定して(腹囲 男性85センチ、女性90センチ、血糖、脂質、血圧、喫煙歴)リスクに合わせた生活習慣改善指導をおこないます。

しかし問題点として、そもそも基準の根拠となる数値が国際学会等で疑問視されていることなどの医学的根拠の薄さや、医療費の抑制どころか増加させてしまう可能性があることや、メタボ対策に関する新たな市場が新たな製薬会社などの利権構造を生んでいることや、職場などでメタボリック差別が行なわれる可能性があることや、保険者へのペナルティ制度が地方財政を悪化させる可能性があること等が指摘されています。

この制度が机上の空論になるのかどうかを含めて、これからも注視していく必要があると思います。

### ガソリン税等の暫定税率失効による戸田市財政への影響額は4億9千万円を試算

戸田市に交付される予定の道路特定財源は、地方道路譲与税7000万円、自動車重量譲与税2億円、自動車取得税交付金2億2000万円の計4億9000万円でした。用途については一般財源として、新曽土地区画整備事業などに利用しております。戸田市議会の民主党会派は予算案に賛成しており、国と地方の党内不一致には理解に苦しみます。

## やわらかばなし…共感から学んだ教育

ずいぶん古い話ですが、大学生の頃、ある方からの紹介で、不登校の子どもを家庭教師を頼まれ、半年くらい週一回、こどもの家庭教師をする事になりました。

与えられたミッションは「体力をつけること」。はじめは、1時間一緒にいても、目が合うのが2回くらい。話が出来るようになったのは1ヶ月してやっとという感じでした。

少し慣れてきたところで、一緒に買い物に出たり、公園に立ち寄りしたりしました。もともと体を動かすことが好きな子だったので、サッカー、鉄棒、ボーリング、卓球など、楽しそうなスポーツと一緒に遊びました。そうするうちに、その子が今まで言わなかった本音を少しずつ言うようになりました。ご両親が仕事でほとんど家にいなく、小さい頃からひとり家でいることや、学校でいじめにあっていたこと、友達がいないことなどでした。そこで私は、自分もその子に対して、素直に悩みや嫌なことなど、友達のように接してみようと思い、時には恋の悩みなども話しました。すると、かしいその子は私にアドバイスをしてくれて、どっちが家庭教師なのか、わからないような関係になれたのです。

そうこうしている間に半年が経ち、ある時、彼は私にいいました。「学校、嫌だけどいってみることにするよ」と…。そして、それから3ヶ月ほどして、彼は完全に学校に復帰して、私は家庭教師の役目を終えることになりました。

この体験は私の人生のなかでも大変貴重なものでした。大学の教育実習の前でしたので、子どもに初めて向き合った瞬間でし、その子と心が通ったことと、学校に復帰したことが、ある意味で自分の自信にもつながりました。

私は、子どもの教育は根本的に「共感」がベースにあるべきだと考えます。共感とは、人間関係の基本となる大切な概念だと思うからです。いじめや不登校の問題は、もはや社会全体の問題です。子どもは大人の背中を見ており、他者が向き合ってくれなければ、他者と向き合う事を学ばないのです。今の大人は「おいしいね」「おもしろかったね」「いたかったね」といった感情を子どもと共有しているのでしょうか？もしかしたら共感する心を育てるはずの大人が対話の重要性をわかっていないのかもしれない。「待って、今忙しいんだから」とその気はなくても子どもをないがしろにしている親も少なくありません。昔から「子ども」自体は何も変わってはいないと思います。もし、彼らの多くに変化が生じたのであれば、彼らを取り巻く環境が変わったのだとおもいます。私たち大人は誰もが子どもの健やかな成長を願いますが、彼らは健全な大人社会があってこそ育つのです。

子どもを問題から救うためには、大人がまず変わる事。そこに日本の子どもの未来がかかっているのではないかと思います。

### 後援会の会員を募集しています！

ご住所、お名前、連絡先をメールください。「すがわら通信」を定期的に送付させていただきます。

アドレス sawayaka@sugawarafumihito.com

### 「すがわら出張ミーティング」随時募集中！

要請があれば、いつでもどこでもうかがいます。市政のことや、市民相談など、ジャンルは問わず、何でも結構です。みなさんの思いを「すがわら文仁」に教えてください。お茶でもしながら気軽にお話ししましょう。

……でも、つるし上げは勘弁してくださいね。

### ボランティア&カンパのお願い

すがわら文仁は、地盤、看板、カバンなしのゼロから政治活動をはじめました。毎回、政治の説明責任として議会報告や自分の主張をするために「すがわら通信」を印刷しておりますが、資金不足が続いています。一緒に活動し、成長するボランティアと同時に、健全な民主主義のためのカンパを募集中です。まじめな政治活動をサポートしていただくご支援、よろしくお願ひいたします。(カンパは、1口1円~OK)

連絡先 sawayaka@sugawarafumihito.com

振込先 巣鴨信用金庫 西浦和支店 普通口座 3113812  
スガワラフミヒト コウエンカイ スガワラタカコ